

—第20回—

SBC杯長野県高等学校新人放送コンテスト



第26回全国高等学校総合文化祭（川崎大会）
マスコットキャラクター 「かもえもん」

運 営 要 項

平成13年12月15日（土）公開審査
ビデオメッセージ部門
テレビ番組フリー部門
A P 部門

12月16日（日）公開審査
アナウンス部門
朗読部門

主催：長野県高等学校視聴覚教育研究会
長野県高等学校文化連盟

後援：SBC信越放送局
長野県教育委員会

役員日程表 (敬称略)

1 2月15日(土) 番組部門公開審査

9:00 ~	委員集合、会場準備、受付準備	
10:00 ~ 10:30	受付 (松商学園高校生徒、担当 北沢、宮島) 審査打ち合わせ会議 (進行 寺島)	[通用口玄関] [特別会議室]
10:30 ~ 10:50	開会行事 (進行: 寺島) 1. 高視研挨拶 (傳田利勝高視研副会長) 2. 信越放送挨拶 (丸山憲司信越放送報道局アナウンス部長) 3. 昨年度最優秀者・楯返還・レプリカ授与 (傳田利勝高視研副会長) 4. 審査員紹介 (伊藤) 5. 諸注意 (伊藤)	[4 F 大ホール]
10:50 ~ 12:50	審査 メッセージ・フリー部門 審査室	[4 F 大ホール] [特別会議室]
12:50 ~ 13:50	昼食、AP部門リハーサル (担当: 横川)	
13:50 ~ 14:10	審査 AP部門 一般公開・審査 審査終了後審査会	[4 F 大ホール] [特別会議室]
14:10 ~ 15:10	交流会 (担当: 横川、池田) 審査会 (統括: 荻原)	[4 F 大ホール] [特別会議室]
15:10 ~ 15:40	審査講評 AP, メッセージ, フリー部門 (進行: 北沢)	[4 F 大ホール]
16:00 ~	明日の準備 専門委員・生徒	

1 2月16日(日) アナウンス・朗読部門公開審査

10:00 ~ 10:30	受付 (松商学園高校生徒、担当 北沢、宮島) 審査打ち合わせ会議 (進行 寺島)	[通用口玄関] [特別会議室]
10:30 ~ 10:40	諸連絡、審査員紹介 (伊藤)	[4 F 大ホール]
10:40 ~ 11:20 (休憩)	審査アナウンス部門 [4 F 大ホール], 審査室	[特別会議室]
11:30 ~ 13:00	審査 朗読部門 [4 F 大ホール], 審査室	[特別会議室]
13:00 ~ 14:00	昼食、審査会 (統括: 栗山)	
14:00 ~ 14:30	審査講評 アナウンス部門、朗読部門	[4 F 大ホール]
14:30 ~ 15:30	閉会行事 (進行: 宮崎) 1. 審査結果発表 (伊藤) 2. 表彰 (青山誠高視研会長) 3. 挨拶 信越放送 (丸山憲司信越放送報道局アナウンス部長) 高視研 (青山誠高視研会長) 4. 連絡 (伊藤)	[4 F 大ホール]
15:30 ~	会場片づけ 専門委員・生徒	

審査員・役員一覧表 (順不同・敬称略)

長野県高視研放送専門委員長 伊藤光宏 長野県高視研放送専門副委員長 寺島 彰・宮崎 潤	
AP・ビデオメッセージ・テレビ番組フリー部門 統括 (荻原)	
A : 善財 優 (信越放送テレビ局制作部長) I : 金井貞徳	
B : 丸山憲司 (信越放送報道局アナウンス部長) J : 小山 寛	
C : 荻原康弘 D : 六川雄一 E : 上野正勝 F : 寺島 彰 G : 栗山嘉章 H : 三枝健司	進行、技術、計測 : 横川哲、池田勇人 集計 : 宮崎潤、北沢弘昭、宮島和昭、 伊藤光宏 生徒補助 : 須坂 (機械技術) 松商学園 (受付)
アナウンス・朗読部門 統括 (栗山)	
A : 久保正彰 (信越放送報道局アナウンス部次長) I : 金井貞徳	
B : 小林万利子 (信越放送報道局アナウンス部主査) J : 池田勇人	
C : 栗山嘉章 D : 六川雄一 E : 寺島彰 F : 西林昭隆 G : 三枝健司 H : 小山 寛	進行、技術、計測 : 横川哲、宮崎潤 集計 : 北沢弘昭、宮島和昭 伊藤光宏 生徒補助 : 須坂 (機械技術) 松商学園 (受付、音量確認補助)

生徒日程表

12月15日(土) 番組部門公開審査

10:00 ~ 10:30	受付 (受付後4F大ホールへ)	[通用口玄関]
10:30 ~ 10:50	開会行事 挨拶(高視研、信越放送)、レプリカ授与、審査員紹介、諸注意	
10:50 ~ 12:50	審査 メッセージ・フリー部門	
12:50 ~ 13:50	昼食 AP部門リハーサル	
13:50 ~ 14:10	審査 AP部門	
14:10 ~ 15:10	交流会	
15:10 ~ 15:40	審査講評 AP, メッセージ, フリー部門	

12月16日(日) アナウンス・朗読部門公開審査

10:00 ~ 10:30	受付 (受付後4F大ホールへ)	[通用口玄関]
10:30 ~ 10:40	諸連絡、審査員紹介	
10:40 ~ 11:20	審査 アナウンス部門 休憩	
11:30 ~ 13:00	審査 朗読部門	
13:00 ~ 14:00	昼食	
14:00 ~ 14:30	審査講評	
14:30 ~ 15:30	閉会行事 審査結果発表、表彰、挨拶(SBC、高視研) 連絡	

諸注意、連絡

1. 審査時間等により上記の日程が変更される可能性もあるので注意してください。
2. 全日程を良識ある行動で過ごすこと。大声で騒ぐなど放送の邪魔をしないこと。
3. 日程内の行動は一切指示に従い、勝手な行動はとらないこと。
4. 放送局内を勝手に歩き回らないこと。
5. 審査中について
 - 静粛を保つこと。(静粛を保てない場合は退場を命ずる場合もある。)
 - アナウンス・朗読の発表者は5人ずつ前に出て、進行係の先生の指示に従うこと。
 - 机に入退席するときには礼はしない。準備ができたら読み始める。
 - 写真撮影は一切厳禁とする。(昼休みを利用すること。)
 - 机上には録音のためのマイク器具類は一切置かないこと。また、機器のON, OFFも発表の途中に行わない。
 - APの発表はカセット操作、スライド映写とも発表校が行う。
6. 番組部門においては、受付で渡されたアンケート用紙に、各作品の感想を書き最後に高校名の書いてある箱に入れて下さい。
7. 番組部門発表終了後、各校の交流会を持ちます。番組発表校は代表1名を出してください。
(番組に対しての他校への質問や、他校からの質問等に答えてもらいたいと思います)

第20回SBC杯長野県高等学校新人放送コンテスト開催要項

1. 主催：長野県高等学校文化連盟、長野県高等学校視聴覚教育研究会
2. 後援：株式会社信越放送 長野県教育委員会
3. 主旨：放送活動を通じて高校生の豊かな人間性と美しく豊かな日本語を大切に
する心情を育成すると共に、校内放送活動の健全な育成と推進をはかる。
4. 部門：ビデオメッセージ部門 オーディオ・ピクチャー部門
テレビ番組フリー部門 アナウンス部門 朗読部門
以上5部門すべて公開審査とする。
5. 会場：SBC信越放送 長野市吉田 1-21-24
6. 日時：平成13年12月15日(土)番組部門(ビデオメッセージ、オーディオ・ピクチャー、ビデオフリー)
受付 10:00 ~ 10:30 本館東口
12月16日(日)アナウンス、朗読部門
受付 10:00 ~ 10:30 本館東口

7. 内容

- (1) アナウンス部門(1校5名まで)
郷土の話題を全国の仲間に伝える内容の自作原稿とします。(校内の話題は不可とします)発表時間は、学校名と氏名を含めて1分30秒以内とします。
- (2) 朗読部門(1校4名まで)
郷土にゆかりのある作家及び作品の中から原文のままを一部選んで原稿とします。
発表時間は、学校名・氏名・作者名・作品名を含めて2分以内とします。
- (3) オーディオピクチャー(A.P)部門(1校1作品)
内容・手法は、自由とします。カセットテープによるステレオ音声とスライド(枚数は自由)を併用する作品とします。発表時間は、5分以内とします。
- (4) ビデオメッセージ(V.M)部門(1校2作品まで)
内容・手法は、自由とします。自校オリジナルのビデオ作品とします。発表時間は、5分以内とします。
- (5) テレビ番組フリー(T.V.F)部門(1校1作品)
題材・内容とも自由(アニメ・CM・ドラマ・その他まったくのフリー)時間は10分前後で1~2分でもよい。

8. 規格

- (1) スライド(オーディオピクチャー部門)
35ミリ標準マウントを使用して下さい。スライド映写機の用意と映写は発表校が行って下さい。(映写機は2台まで使用して下さい)
- (2) 音声(オーディオピクチャー部門)
カセットテープ(1作品に1本)のA面に録音して下さい。ステレオ再生を行います。ドルビー等のノイズリダクションは、使用しないで下さい。カセットテープ再生と音量調節は、発表校が行って下さい。
- (3) ビデオ(ビデオメッセージ部門、テレビ番組フリー部門)
VHS(VHS・S・VHS)方式または、DV(スタンダード・ミニ)方式で録画したものとします。テープスピードは、「標準(SP)モード」のみとします。音声については、次の通りとし「ミックス再生」など特別な再生方法は行いません。VHS方式では、「Hi-Fi」または、「ノーマル」とします。DV方式では、「16ビット ステレオ」「12ビット ステレオ1」「12ビット ステレオ2」のいずれかが1つとします。作品の前後に、20秒間のテストパターン(静止画)を録画してください。作品の再生は、主催者が行います。

(4) その他

上記のカセットテープの代わりに、MD(ミニディスク)を使用することもできます。MDの録音モードは、「標準(従来フォーマット)」のみとします。長時間録音モード(MDLP等)は、使用しないでください。ただし、ディスクエラーの可能性があるので、同じ内容を録音したカセットテープと一緒に提出してください。著作権については、出場各校で所定の手続きをしてください。各部門とも、提出作品は他のコンクール等に参加していないものとします。

9. 参加申し込みについて

締切

12月 5日(水)正午

申し込み方法

下記ホームページにて登録すること。なお、確認のFAXを事務局より返送するので、これをもって受付完了となります。

また、インターネットにアクセスできない環境の場合は下記事務局まで申込書をFaxでお送りください。

SBCコンテスト申し込み HomePageAdress <http://www.suzaka-h.ed.jp/scon>

第20回SBC杯長野県高等学校新人放送コンテスト実施事務局

須坂高等学校 宮崎 潤宛

電話 026-245-9474

Fax 026-251-2352

・コンテストについて不明な点は下記事務局までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

松本美須ヶ丘高校 電話 0263-33-3690

長野高文連放送部会事務局 伊藤光宏

(例年SBC信越放送へ直接問い合わせる学校がありますが、問い合わせ先は上記になりますので間違えないようにしてください)

1.1. 提出物 参加部門により以下のものを当日本館東口受付で提出してください。

参加申込書

アナウンス・朗読原稿各3部

番組の台本各3部, テープ等

1.2. 参加資格: 長野県内の高校に在籍する卒業学年以外の生徒に限ります。

参加料は1作品(1人)につき1,000円

1.3. 表彰: 審査員は信越放送の専門職員と高視研放送専門委員が当たり、また表彰については各部門とも次の通りとするが程度によりその数を下回ることもあります。

最優秀1、優秀賞3、優良賞10(その他にアナウンスと朗読には、奨励賞10程度)

1.4. 全国高等学校総合文化祭への推薦について

平成14年度 第26回大会は神奈川県川崎市教育文化会館大ホール・大会議室で8月10日(土)~11日(日)に行われ、以下の本数を推薦します。

(1) アナウンス部門・朗読部門 各3名

(2) オーディオピクチャー部門 1作品

(3) ビデオメッセージ部門 2作品

ただし、(ビデオメッセージ部門、オーディオピクチャー部門)及び(アナウンス部門、朗読部門)内での同一校複数の推薦はできません。

全国高等学校総合文化祭に推薦された場合、アナウンス部門ではスライド(5枚以内)、朗読部門では効果音やBGMを併用することができます。

1.6. その他

第1日目番組部門発表終了後、各校の交流の場を設定する予定です。番組発表校は代表1名を考えておいてください。(番組に対しての他校への質問や、他校からの質問等に答えてもらいたいと思います)

第20回SBC放送コンテスト引率職員の先生方への連絡

本日は生徒の引率ご苦労様です。日頃は、当コンテストにつきましてご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。校内放送活動の一層の推進のためにも、今後とも貴校生徒の積極的な参加をよろしくお願いいたします。

- ・大会事務局と放送専門委員の控室は、2F第4会議室にあります。
- ・引率顧問控え室は、1F来客室になります。ご自由にご利用ください。
- ・発表会場は、全ての部門とも4F大ホールで行います。

< SBCコンテスト連絡事項 >

1. 各部門の審査については、別項SBC杯高校新人放送コンテスト審査用項に基づいて、公正に行っています。今年度は、アナウンス部門・朗読部門各3名、AP部門1作品、ビデオメッセージ部門2作品を全国大会に推薦します。ただし、県大会要項にあるとおり、ビデオメッセージ部門・AP部門及びアナウンス部門・朗読部門内での同一校の複数推薦は大会の趣旨によりできませんので、最優秀がそのまま全国推薦でないことをご理解いただきたくお願い申し上げます。
2. 全国大会推薦校は、別紙「第26回高等学校総合文化祭参加校推薦書(学校用)」へ記入の上、12/25(火)必着で下記、高文連放送部会事務局まで送付してください。
3. 全国大会参加のための県教委からの交付金については、高等学校文化振興事業交付金要綱に基づき助成されますが、予算の総枠を長野県高等学校文化連盟事務局で各専門部ごとに検討し配分補助される予定です。(補助率は、年度により多少変動します)残りについては、各学校負担・個人負担となります。

- ・コンテストについて不明な点は下記事務局までご連絡ください。

〒390-8602 松本市美須々2番1号

長野県松本美須々ヶ丘高等学校 高文連放送部会事務局 伊藤光宏

電話(0263)-33-3690 FAX(0263)-37-1076

<平成13年度(第38回)長野県自作教育映画・ビデオ作品コンクールの実施について>
別紙の通り募集しておりますので、ご参加下さい。

<第2回長野県高等学校放送フェスティバルについて>

2月3日(日)に、松本文化会館中ホールにて、昨年に引き続き第2回長野県高等学校放送フェスティバルの開催を予定しています。高校生が作ったビデオ作品を広く一般市民に公開する内容にしたいと思います。参加及び運営への御協力をお願いすることになると思いますのでよろしくお願いいたします。

< 来年度コンテスト関係連絡 >

1. 第49回NHK放送コンテストについて(校内放送研究 No.126 より)

会場・日程等について

決勝 7月25日(木)NHKホール

前々日と前日に、国立オリンピック記念青少年総合センターにて、準々決勝、準決勝を行う予定。

作品提出は各会場受付時、全国大会エントリー締切は6月28日(金)、48大会と同様の形で行う。

朗読指定作品

- | | | |
|----------------|---------------------|-------|
| 1)「高瀬舟」 | 森 鷗外 作 (新潮文庫) | 文豪の作品 |
| 2)「少年H」 | 妹尾 河童 作 (新潮文庫) | 若い作家 |
| 3)「イタリアからの手紙」 | 塩野 七生 作 (新潮文庫) | エッセー |
| 4)「スタンド・バイ・ミー」 | スティーブン・キング 作 (新潮文庫) | 翻訳 |
| 5)「土佐日記」 | 紀 貫之 作 | 古典 |

()内の出版社に限る。5)は現代語訳不可、出典は問わない。1)は指定作品に限る。その他詳細については来年度4月配布予定の校内放送研究をご覧ください。

2. 来年度SBCコンテストについて

- ・内容については第27回高総文祭放送部門(案)の要項に準拠したものになる予定です。

第 26 回全国高等学校総合文化祭

放 送 部 門 参 加 要 領

- 1 目 的 (1) 全国規模のフェスティバルに参加し、地域的话题を全国の仲間に発信することでお互いに交流を深める。
 (2) 高校生の豊かな感性を發揮したオリジナル作品を作り、発表し、また視聴することにより参加者全員が創造の喜びと感動を共有する。
 (3) アナウンス・朗読を通して日本語の美しさを再発見し、言語表現の多様さを楽しむとともに、優れた発表にふれることで放送技術の向上を目指す。
- 2 日 時 平成 14 年 8 月 10 日 (土) 9:00 ~ 17:00 < 予定 >
 8 月 11 日 (日) 9:00 ~ 16:00 < 予定 >
- 3 会 場 川崎市教育文化会館大ホール・大会議室他
 〒 210 - 0011 神奈川県川崎市川崎区富士見 2 - 1 - 3
 TEL 044 - 233 - 6361 JR 東海道線 川崎駅 徒歩 15 分
- 4 参加資格 全国高等学校総合文化祭開催基準規程第 10 条に基づき参加資格を有する者
 とします。
- 5 部門及び
 発表者・
 出品数
- | | | |
|-----|----------------------|------|
| (1) | アナウンス部門 | 3 名 |
| (2) | 朗読部門 | 3 名 |
| (3) | オーディオピクチャー部門 (AP) 部門 | 1 作品 |
| (4) | ビデオメッセージ (VM) 部門 | 2 作品 |
- 開催県については、それぞれの部門について 2 倍まで可とします。
- 6 発表及び
 出品基準
- 「1. 目的」の主旨に即し、次の通りとします。
- (1) アナウンス部門
- * 郷土の話題を全国の仲間に伝える内容の自作原稿とします。(校内の話題は不可とします)
 - * 発表時間は、学校名と氏名を含めて 1 分 30 秒以内とします。
 - * スライド (5 枚以内) を、併用することができます。
 - * BGM は、使用できません。
- (2) 朗読部門
- * 郷土にゆかりのある作家及び作品の中から原文のままを一部選んで原稿とします。
 - * 発表時間は、学校名・氏名・作者名・作品名を含めて 2 分以内とします。
 - * カセットテープによる効果音や BGM を併用することができます。
 - * スライドは、使用できません。
- (3) オーディオピクチャー (AP) 部門
- * 内容・手法は、自由とします。
 - * カセットテープによるステレオ音声とスライド (枚数は自由) を併用する作品とします。
 - * 発表時間は、5 分以内とします。
- (4) ビデオメッセージ (VM) 部門
- * 内容・手法は、自由とします。
 - * 自校オリジナルのビデオ作品とします。
 - * 発表時間は、5 分以内とします。
- 7 規 格
- (1) スライド (アナウンス部門・オーディオピクチャー部門)
- * 35 ミリ標準マウントを使用することとします。
 - * スライド投影機は、アナウンス部門では 1 台、AP 部門では 2 台使用できます。
 - * スライド投影は、AP 部門では、発表校が行います。アナウンス部門では、台本に従って開催県が担当しますが、希望があれば発表校が行うことも可とします。
- (2) 音声再生 (朗読部門・オーディオピクチャー部門)
- * カセットテープの A 面に、1 作品分を再生順に録音したものとします。

- * ドルビー等ノイズリダクションは、使用できません。
- * 再生と音量調整は、AP 部門・朗読部門では、台本に従って開催県が担当しますが、希望があれば発表校が行うことも可とします。
- (3) ビデオ(ビデオメッセージ部門)
 - * VHS (VHS・S - VHS) 方式または、DV (スタンダード・ミニ) 方式で録画したものとします。
 - * テープスピードは、「標準 (SP) モード」のみとします。
 - * 音声については、次の通りとし「ミックス再生」など特別な再生方法は行いません。
 - VHS 方式では、「Hi - Fi」または、「ノーマル」とします。
 - DV 方式では、「16 ビット ステレオ」「12 ビット ステレオ 1」「12 ビット ステレオ 2」のいずれか 1 つとします。
 - * 作品の前後に、20 秒間のテストパターン (静止画) を録画してください。
 - * 作品の再生は、開催県が行います。
- (4) その他
 - * 上記のカセットテープの代わりに、MD (ミニディスク) を使用することもできます。MD の録音モードは、「標準 (従来フォーマット)」のみとします。
 - 長時間録音モード (MDLP 等) は、使用しないでください。
 - ただし、ディスクエラーの可能性がありますので、同じ内容を録音したカセットテープも一緒に提出してください。
 - * AP 部門以外は、左右の音声トラックに、同じ音を同じ音量で録音してください。

- 8 発表順 開催県の事務局で決定します。
- 9 審査及び表彰 (1) 審査は、開催県で委嘱した各部門 5 名 (予定) の審査員により行います。
- (2) 各部門とも、特に優れた発表・作品に、優秀賞を授与します。また、部門の基準に照らして表彰に値すると認められた発表・作品に、特別賞を授与します。
- (3) 講評会・表彰式は、閉会式に先立って大ホールで行います。
- 10 リハーサル オーディオピクチャー (AP) 部門のみは、以下の日程で行います。
- 期日:平成 14 年 8 月 9 日 (金) 場所:川崎市教育文化会館 大ホール
- 11 交流会 次のとおり行います。
- 期日 平成 14 年 8 月 10 日 (土)・11 日 (日)
- 場所 川崎市教育文化会館 大ホール
- 12 参加申込 各都道府県の高等学校文化連盟、または、教育委員会の指示に従ってください。
- 13 作品及び台本の提出 各都道府県単位で一括して送付してください。
- 14 作品返却 当日、発表終了後に、部門受付で返却します。
- 15 顧問会議 期日 平成 14 年 8 月 9 日 (金)
- 場所 川崎市立富士見中学校 (川崎市教育文化会館の隣)
- 16 その他 (1) 著作権等に関して権利者の許諾が必要な場合は、出場校の責任で作品の提出時まで、所定の手続きを行っておいてください。
- (2) 各部門とも、他のコンクール等に参加していないものとします。
- (3) 詳細については、平成 14 年 3 月に送付する「参加要項」等でお知らせします。
- 17 事務局 〒220 - 0073
 神奈川県横浜市西区岡野 1 - 5 - 8 神奈川県立横浜平沼高等学校校内
 第 26 回全国高等学校総合文化祭 神奈川県実行委員会事務局
 TEL 045 - 290 - 6471 ~ 4 Fax 045 - 290 - 6474
- 18 部門の問い合わせ 〒226 - 0066
 神奈川県横浜市南区六ツ川 1 - 731 神奈川県立六ツ川高等学校内
 放送部門担当 井浦 洋
 TEL 045 - 721 - 1434 Fax 045 - 742 - 9493

第 27 回全国高等学校総合文化祭 放送部門参加要領(案)

- 1 目的 (基本方針) 全国の高校生がメディアを用いて自ら制作した作品を発表し感動体験を共有する。ひとりひとりが美しい日本語を味わい、表現する力を高める。地域の歴史や文化をたどり、発信しあうことで国内外の高校生との交流を深める。
- 2 日時 平成 15 年 8 月 11 日(月)・12 日(火)
9:30 ~ 17:30 (予定)
- 3 会場 プラザ萬象
〒914 - 0047 福井県敦賀市東洋町 1 番 1 号
TEL.(0770)22 - 9711 FAX.(0770)22 - 9791
- 4 参加資格 全国高等学校総合文化祭開催基準規定第 10 条に基づき、参加資格を有するものとします。
- 5 部門及び発表者・出品数

(1)	アナウンス部門	3名
(2)	朗読部門	3名
(3)	オーディオピクチャー部門(AP)部門	1作品
(4)	ビデオメッセージ(VM)部門	2作品

開催県については、それぞれの 2 倍以内とします。

6 発表及び出品基準

(1) アナウンス部門

短歌、詩、俳句などの内容を含んだ話題を全国の高校生に伝える内容の自作原稿を作り、発表してください。スライド(5枚以内)を併用することができます。

発表時間は、学校名、氏名を含めて 1 分 30 秒以内とします。

BGM は使用できません。

(2) 朗読部門

郷土にゆかりのある作家及び作品の中から原文のままを一部選んで原稿として下さい。

効果音や BGM を併用することができます。

発表時間は、学校名、氏名、作者名及び作品名を含めて 2 分以内とします。

スライドは使用できません。

(3) オーディオピクチャー(AP)部門

詩、短歌、俳句などに関連した内容とします。

カセットテープによるステレオ音声とスライド(枚数は自由)を併用する作品とします。

ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など手法は問いません。

発表時間は 5 分以内とします。

(4) ビデオメッセージ(VM)部門

内容、手法は自由とします。

自校オリジナルのビデオ作品とします。

発表時間は 5 分以内とします。

7 規 格

(1) スライド(アナウンス部門・AP 部門)

・ 35 ミリ標準マウントを使用するものとします。

・ 映写機はアナウンス部門では 1 台、AP 部門では 2 台まで使用できます。

・ 映写は、AP 部門では発表校が行ってください。

・ 操作はアナウンス部門では台本にしたがって開催県が担当しますが、希望により発表校で行うこともできます。

(2) 音声再生(朗読部門・AP 部門)

・ カセットテープの A 面に 1 作品分を再生順に録音したものとします。

・ ドルビー等のノイズリダクションは使用できません。

・ 再生は、AP 部門は発表校が行ってください。

- ・朗読部門では台本に従って開催県が担当しますが、希望により発表校で行うこともできます。
- (3) ビデオ (VM 部門)
 - ・VHS・S-VHS・DV・miniDV (DV は民生用) のいずれかのテープに録画したものとします。
 - ・テープスピードは、「標準」、「SP モード」とします。「LP モード」は使用しないで下さい。
 - ・音声トラックは、VHS・S-VHS では「Hi-Fi」か「ノーマル」のいずれか一方とし、ミックス再生は行いません。
 - ・DV・miniDV (民生用) では【12bit stereo】【12bit stereo2】【16bit stereo】のいずれか一つとし、ミックス再生は行いません。
 - ・作品本編の前後に 20 秒間の静止画によるテストパターン (形式は自由) を録画してください。
 - ・再生は開催県が担当します。
- (4) 共通事項
 - ・上記の「カセットテープ」の代わりに「MD」を使用することもできます。ただしディスクエラーの場合に備え、同じ内容のカセットテープも提出して下さい。
 - ・著作権は全国高文連の規約に則り、出場各校で所定の手続きをしてください。
 - ・各部門とも、提出作品はほかのコンクール等に参加していないものとします。
- 8 発表順

開催県事務局で決定します。
- 9 審査講評及び表彰
 - (1) 審査及び講評を、開催県で委嘱した講師により行います。
 - (2) 各部門とも特に優れた発表・作品に優秀賞を授与します。また、部門の基準に照らして表彰に値すると認められた発表・作品に特別賞を授与します。
 - (3) 講評会、表彰式は閉会式に先立ってメインホールで行います。
- 10 リハーサル

AP 部門については希望校のみ下記の日程で行います。

 - (1) 日時 平成 15 年 8 月 10 日 (日) 9:30 ~ (予定)
 - (2) 場所 プラザ萬象 大ホール
- 11 作品送付受付期間

下記の期間に各都道府県単位で一括して送付してください。

平成 15 年 月 日 () ~ 月 日 ()
- 12 作品返却 発表終了後に部門受付で返却します。
- 13 交流会 下記のとおり生徒の交流会を行います。
 - (1) 期日 平成 15 年 8 月 11 日 (月) ~ 12 (火)
 - (2) 会場 プラザ萬象
 - (3) 内容 未定
- 14 顧問会議 下記のとおり顧問会議 (専門部会を兼ねる) を行います。
 - (1) 日時 平成 15 年 8 月 10 日 (日) 時間未定
 - (2) 場所 未定
- 15 参加校推薦書の送付

各都道府県の高等学校文化連盟又は教育委員会の指示に従ってください。
- 16 その他

詳細については、平成 15 年 3 月に送付する「参加要項」等でお知らせします。

なお、この参加要領の最終確定は、平成 14 年 8 月に行われる (神奈川大会) での顧問会議とします。
- 17 事務局 福井県実行委員会事務局

〒910 - 8580
福井市大手 3 丁目 17 番 1 号 県教育庁高校教育課総合文化祭準備室
TEL 0776 - 20 - 0572 FAX 0776 - 20 - 0670
- 18 部門事務局

〒917-0293 福井県小浜市金屋 48 - 2 福井県立若狭東高等学校 放送部門担当 清水一広
TEL 0770 - 56 - 0400 FAX 0770 - 56 - 3763 E-mail fukui27@anet.ne.jp

第20回 SBC 杯長野県高等学校新人放送コンテスト

審査要項

長野県高等学校視聴覚教育研究会放送専門委員会

審査会

1. 各部門とも最低6名の審査員で構成し、最低2名は専門職としてSBC職員。最低4名は教育職として高視研放送専門委員があたる。実状によって、6名以上の審査員で審査することを妨げない。
2. 審査委員長には高視研放送専門委員長がその任にあたり、各部門の審査会を統括する。
3. 審査委員長の委嘱を受けた各部門審査員の代表は審査会の意見を整理し、審査講評をする。

審査方法

1. 番組部門はテープによる公開審査。オーディオピクチャー部門はスライド上映とテープ再生による公開審査。アナウンス・朗読部門は本人参加の公開審査で行い、いずれもスピーカーからの音声で審査する。
2. 番組部門の審査に当たっては、テープ再生機器レベルは、各作品冒頭部分のナレーションまたはインタビューのレベルを基準レベルとし再生視聴する。アナウンス・朗読部門の審査に当たっては、モニターレベル等を標準レベルにセットし標準固定条件の中で行う。個々の発表者毎の調整を行わない。オーディオピクチャー部門については、発表者による音量調節を認める。番組・オーディオピクチャー部門の音声はステレオ再生する。

表彰者の選抜

1. 各部門（全部で5部門）の表彰は下記に定める数とする。

「優秀」の数は下表による。

各部門ごとに「優秀」の中から「最優秀」を1本（計5本）選抜する。

10本（人）程度の「優良」を選抜する。また若干本の「奨励賞」を選抜することができる。

内容や程度によっては、以上の数を下まわることもある。

アナウンス部門 4人	朗読部門 4人	
オーディオピクチャー部門 4本	ビデオメッセージ部門 4本	テレビ番組フリー部門 4本

2. 各部門とも入賞の中から全国大会への代表を決定する。アナウンス、朗読部門を通して1校1名、ビデオメッセージ、オーディオピクチャー部門を通して1校1作品とする。エントリー枠はできるだけ満たす。全国高総文祭エントリー枠は、アナウンス部門3名、朗読部門3名、オーディオピクチャー部門1作品、ビデオメッセージ部門2作品。
3. 優秀・優良の決定は、得点の高得点順による。順位はつけずに、優秀、優良を決定し、優秀の中から各部門「最優秀」を決定する。

4. 同得点の場合は

- (1) 専門職の得点の多い方を上位とする。
- (2) 高得点をつけた審査員の多い方を上位とする。

それでも同得点の場合や、その他の問題点のある場合は全て審査会の合議によって決定する。

失格

1. 様式規定(台本・原稿)や各部門毎の参加(制作)上の注意に反したものは失格とし、審査対象外とする。

採点・配点・集計

1. 各審査員の独自の判定により採点する。
2. 集計された得点を基にして審査会として集約した審査結果にまとめる。
3. 各部門とも別項の審査視点をふまえ1点きざみの100点満点で採点する。
4. 集計にあたっては、
審査員ごとに、すべての被審査者(作品)に対する採点を母集団とする偏差値を算出する。
全審査員の最高点、最低点を除き、偏差値の平均を算出(小数点下2位を四捨五入)し、表彰の審査資料とする。

審査基準

【1】アナウンス部門

1. 郷土の話題を全国の仲間に伝える内容の自作原稿とします。(校内の話題は不可とします)発表時間は、学校名と氏名を含めて1分30秒以内とします。
2. 審査の視点として
ア. 原稿
(1) 素材の選び方 (2) 文章表現 (3) 内容
イ. アナウンスの技術
(1) マイクの使い方 (2) 発声 (3) アクセント (4) イントネーション
(5) テンポ (6) ポーズのとり方

【2】朗読部門

1. 郷土にゆかりのある作家及び作品の中から原文のままを一部選んで原稿とします。発表時間は、学校名・氏名・作者名・作品名を含めて2分以内とします。
2. 審査の視点として
ア. 原稿
(1) 作品の選定 (2) 朗読部分の抽出の仕方
イ. 朗読の技術
(1) マイクの使い方 (2) 発声 (3) アクセント (4) イントネーション
(5) テンポ (6) ポーズの取り方 (7) 内容の把握 (8) 表現のしかた

アナウンス朗読の配点について

点数は100点法。おおむねア.の項を30%、イ.の項を70%とする。
50点を基準として、上下にプラス・マイナスし、採点する。

【3】オーディオ・ピクチャー部門

内容・手法は、自由とします。カセットテープによるステレオ音声とスライド（枚数は自由）を併用する作品とします。発表時間は、5分以内とします。

審査の視点と配点

テーマ点50点と、制作技術点50点に分けて配点する。

ア. テーマ点（50点）

テーマを設定し、番組内容にテーマを効果的に表現しているか。

- a. テーマをよくとらえ見事に表現している
- b. テーマにふさわしい
- c. テーマにふさわしいが今一步
- d. テーマからややずれている
- e. テーマにふさわしくない

イ. 制作技術点（50点）

審査の視点として

- (1) 制作の手法 (2) 取材の方法や努力 (3) 企画構成 (4) 演出・編集
- (5) 技術（録音・撮影の技術、アナウンスやナレーションの技術、音楽・効果音など）
 - a. 特に優れている
 - b. 優れている
 - c. 普通である
 - d. やや劣る
 - e. はなはだしく劣る

【4】ビデオメッセージ部門

内容・手法は、自由とします。自校オリジナルのビデオ作品とします。発表時間は、5分以内とします。

審査の視点と配点

テーマ点50点と、制作技術点50点に分けて配点する。

ア. テーマ点（50点）

テーマを理解し、番組内容にテーマを効果的に表現しているか。

- a. テーマをよくとらえ見事に表現している。
- b. テーマにふさわしい
- c. テーマにふさわしいが今一步
- d. テーマからややずれている
- e. テーマにふさわしくない

イ．制作技術点（50点）

審査の視点として

- （1）制作の手法（2）取材の方法や努力（3）企画構成（4）演出・編集
- （5）技術（録音・撮影の技術、アナウンスやナレーションの技術、音楽・効果音など）
 - a．特に優れている
 - b．優れている
 - c．普通である
 - d．やや劣る
 - e．はなはだしく劣る

【5】テレビ番組フリー部門

題材・内容とも自由（アニメ・CM・ドラマ・その他まったくのフリー）時間は10分前後で1～2分でもよい。

審査の視点と配点

テーマ点50点と、制作技術点50点に分けて配点する。

ア．テーマ点（50点）

テーマを設定し、番組内容にテーマを効果的に表現しているか。

- a．テーマをよくとらえ見事に表現している
- b．テーマにふさわしい
- c．テーマにふさわしいが今一步
- d．テーマからややずれている
- e．テーマにふさわしくない

イ．制作技術点（50点）

審査の視点として

- （1）制作の手法（2）取材の方法や努力（3）企画構成（4）演出・編集
- （5）技術（録音・撮影の技術、アナウンスやナレーションの技術、音楽・効果音など）
 - a．特に優れている
 - b．優れている
 - c．普通である
 - d．やや劣る
 - e．はなはだしく劣る

参加作品・生徒名一覧

1. ビデオメッセージ部門

NO	学校名	作品・氏名	テープ種類	時間
1	梓川	先生！時代です。	DV 16ステレオ	5:00
2	松商学園	生命の最前線で	S-VHS HI-FI	4:58
3	松本蟻ヶ崎	一つの時代が終わるとき	DV 16ステレオ	4:59
4	長野清泉女学院	私たちのクリスマス	DV 16ステレオ	
5	松本美須々ヶ丘	美須々のある一日	DV 16ステレオ	4:59
6	松本県ヶ丘	わが松本城	S-VHS HI-FI	4:56
7	長野吉田	HONEY SUCKLE ROSE	VHS HI-FI	5:00
8	須坂	僕らの寸劇初体験！	DV 16ステレオ	5:00
9	松商学園	一生犬命	S-VHS HI-FI	4:58
10	大町北	私たちの誇り	DV 16ステレオ	4:59
11	飯田	change—ラジオが私にくれたもの—	S-VHS HI-FI	5:00
12	長野西	FREEDOM	DV 16ステレオ	
13	須坂	CM制作初挑戦！	DV 16ステレオ	5:00
14	飯田風越	校歌への想い	DV12ステレオCH1	4:50

2. テレビ番組フリー部門

NO	学校名	作品・氏名	テープ種類	時間
1	松本蟻ヶ崎	キノコ～モスキート青山の実験編～	DV 16ステレオ	10:00
2	長野吉田	れんこん青春記	VHS HI-FI	10:00
3	松本工業	こんな顔だよ、松工人	VHS ノーマル音声	1:30
4	松商学園	もしも 松本大地震が・・・	S-VHS HI-FI	11:00
5	飯田風越	風越TVショッピング	DV 12ステレオCH1	1:00

3. オーディオピクチャー部門

NO	学校名	作品・氏名	テープ種類	時間
1	長野吉田	あなたは占いを信じますか？	MD	5:00
2	長野清泉女学院	時は流れて ～新たな出発～	MD	
3	松商学園	「はじけろ！！サンバ」	MD	4:58

4. アナウンス部門

NO	学校名	作品・氏名	学年	性別	内容
1	大町北	降旗真実	1年	女	霊松寺
2	松商学園	横山 安奈	2年	女	ワシ・タカの観察について
3	飯田	木下和香菜	1年	女	市田柿について
4	長野西	奥山香織	2年	女	善光寺の鳩
5	須坂	春原 ゆかり	2年	女	神楽の後継者問題
6	長野	滝澤諒子	1年	女	立ヶ鼻遺跡について
7	松商学園	落合 由希	2年	女	「ものづくり講座」について
8	松本美須々ヶ丘	清水邦彦	2年	男	百瀬さんの民芸品作りについて
9	須坂	野口 藍	2年	女	安市・行者の火渡り
10	松本美須々ヶ丘	竹内裕香	1年	女	ハーブガーデンについて
11	長野	菅田美希	1年	女	東条のホテルについて
12	須坂	滝沢 祐太郎	1年	男	青い目の人形
13	松商学園	宮沢 史恵	2年	女	桜の植樹について
14	長野	平出啓子	2年	女	元気なお年寄りの活動について
15	大町北	松澤麻衣	2年	女	影絵「りゅう子の白い旗」
16	飯田	中原奈月	2年	女	黒田人形について
17	松本美須々ヶ丘	石曾根彩	1年	女	公園の花について
18	松商学園	松沢 春奈	2年	女	楽しい菓子屋さんについて
19	梓川	山本 かすみ	2年	女	ブーニャンについて
20	松商学園	甕 あゆみ	2年	女	子供相撲について
21	大町北	宮澤由貴	1年	女	霊松寺と羽田さん
22	長野	傳田瑞乃	1年	女	三本柳の由来について
23	須坂	市村 純子	1年	女	鴨ヶ岳の魅力

5 . 朗読部門

NO	学校名	氏名	学 年	性 別	作品・作者名
1	松本蟻ヶ崎	北原宏美	1年	女	信州雲にのってロマンの旅(増沢光男)
2	松商学園	小山 曜	2年	女	新田次郎作 「芙蓉の人」
3	大町北	遠山桃子	2年	女	山本茂美作「あゝ野麦峠」
4	飯田	熊谷美保	2年	女	マヤの一生
5	長野吉田	滝沢和子	2年	女	どくとるマンボウ青春期
6	須坂	甲斐 めぐみ	1年	女	風立ちぬ
7	松本蟻ヶ崎	成田視紀	1年	女	満蒙開拓奈落の底から(高山すみ子)
8	飯田	青嶋彩栄子	2年	女	光る臼
9	長野吉田	武田麻佳	2年	女	強力伝
10	大町北	宮澤こずえ	1年	女	新津きよみ作「二重証言」
11	松本蟻ヶ崎	滝沢かおる	1年	女	折々の葉(藤原てい)
12	長野	萩原将隆	2年	男	続 信濃の赤彦(神戸利郎)
13	須坂	井熊 志保	1年	女	白い壁
14	屋代	丸山幸恵	1年	女	立原正秋『幻の杏子の花』
15	長野吉田	石坂巧一	2年	男	風を見た少年
16	松本美須々ヶ丘	村田崇徳	2年	男	北杜夫作「少年」
17	須坂	竹前 麻里子	1年	女	流れる星は生きている
18	長野	上野麻衣	2年	女	流れる星は生きている(藤原てい)
19	松商学園	高木 加織	2年	女	和田登作 「思い出のアン」
20	長野吉田	中尾結香	1年	女	夜明け前
21	梓川	生田 和徳	1年	男	安曇野
22	屋代	羽場崎恵美	2年	女	立原正秋『幻の杏子の花』
23	松商学園	忠地 舞	2年	女	臼井吉見作「安曇野」
24	諏訪二葉	平出 仁美	2年	女	そっと、耳をすませば
25	松本蟻ヶ崎	浜本七恵	2年	女	黒物語(椋鳩十)
25	松本深志	大蔦 幸	2年	女	きつねの窓
26	須坂	小林 奈津子	2年	女	信濃動物記 三頭の熊
28	長野	石坂沙和	2年	女	流れる星は生きている(藤原てい)
29	松本工業	村山尚樹	1年	男	信州美術館苦情 窪島誠一郎
30	屋代	内田葉子	1年	女	立原正秋『幻の杏子の花』
31	梓川	榊澤 佐知	2年	女	安曇野
32	飯田風越	熊谷知子	2年	女	大人にしてあげた小さなお話し(岸田今
33	松商学園	高嶋 未恵	2年	女	新田次郎作「聖職の碑」
34	飯田風越	森本恵	2年	女	霧の子孫たち(新田次郎)
35	長野西	玉井美穂	2年	女	井上靖作 風林火山

第20回SBC杯長野県高校学校新人放送コンテスト大会参加校一覧

No	学校名	AP	メッセージ	フリー	アナウンス	朗読	合計	備考
1	須坂		2		4	4	10	
2	吉田	1	1	1		4	7	
3	長野				4	3	7	
4	長野西		1		1	1	3	
5	清泉	1	1				2	
6	屋代					3	3	
7	飯田		1		2	2	5	
8	風越		1	1		2	4	
9	二葉					1	1	
10	梓川		1		1	2	4	
11	松工			1		1	2	
12	県ヶ丘		1				1	
13	蟻ヶ崎		1	1		4	6	
14	深志					1	1	
15	美須々		1		3	1	5	
16	大町北		1		3	2	6	
17	松商	1	2	1	5	4	13	
	合計	3	14	5	23	35	80	

第19回	4	12	5	25	39	85	15
第18回	5	8	3	25	30	71	12
第17回	4	14	7	30	25	80	15
第16回	6	11	8	33	47	105	21
第15回	6	7	8	43	45	109	17
第14回	7	14	3	42	44	110	19
第13回	10	14	中止	48	49	121	18
第12回	7	10	9	67	63	156	20
第11回	4	9	7	50	45	115	19
第10回		9	7	68	57	141	21
第9回		7	3	51	46	107	21
第8回				53	45	98	20

☆

☆

☆

☆印回 各校エントリー アナ4 朗3